

---

## Ⅱ

# 令和4年度 地域学校協働活動の 取組紹介

～フォーラムの取組を中心に～

---

- 1 令和4年度東京都地域学校協働活動推進フォーラム／  
コミュニティ・スクール推進フォーラム 概要
- 2 “地域教育推進ネットワーク東京都協議会  
会員団体”による“企業・NPO等による  
“教育プログラム” オンライン見本市”
- 3 6つの[オンライン] テーマ別分科会
- 4 地域学校協働活動関連サイト紹介～区市町村  
における地域学校協働活動関連サイト紹介
- 5 令和2・3年度 東京都 地域学校協働活  
動推進フォーラム 紹介動画事例アーカイブ

1

# 令和4年度東京都地域学校協働活動推進フォーラム／コミュニティ・スクール推進フォーラム 概要

～子供たちの教育環境を豊かにする学校運営協議会と地域学校協働活動の取組に学ぶ～

多様に展開している取組事例を取り上げ、地域学校協働活動関係者（行政職員、統括コーディネーター、地域コーディネーター等）、学校運営協議会関係者、学校関係者が、学校と地域の連携の在り方について理解を深め、交流する機会として、「令和4年度東京都地域学校協働活動推進フォーラム／コミュニティ・スクール推進フォーラム（以下「フォーラム」）」を開催しました。

※以下「学校運営協議会（コミュニティ・スクール）」を「CS」とする。

令和2・3年度と同様にオンライン開催とし、フォーラム特設のホームページを設けました。

また令和4年度は新たな取組として、WEB会議を活用した関係者の交流や意見交換の機会として、6つのテーマ別分科会を実施しました。

## フォーラム特設ホームページ

### コンテンツ① “企業・NPO等による“教育プログラム”オンライン見本市”



19 頁へ

49 の教育プログラムを掲載した資料集を都内小中学校に配布

特設 HP においても教育プログラムが閲覧可能に

教育プログラムが実際に活用されている事例を動画で紹介

### コンテンツ② “地域学校協働活動関連サイト紹介～区市町村における地域学校協働活動関連サイト紹介～”



26 頁へ

区市町村における地域学校協働活動に関するサイトや取組事例を紹介

取組事例は、事例報告レポート（PDF）のほか、動画による事例報告も

## テーマ別分科会（令和4年12月10日土曜日午後オンライン開催）

テーマ① コミュニティ・スクールの導入

20 頁へ

テーマ② 小学校における多様な地域学校協働活動の展開

22 頁へ

テーマ③ 中学校における多様な地域学校協働活動の展開

24 頁へ

1 令和4年度東京都地域学校協働活動推進フォーラム／コミュニティ・スクール推進フォーラム 概要

## 2

# “地域教育推進ネットワーク東京都協議会 i 会員団体”による “企業・NPO 等による“教育プログラム”オンライン見本市”

「令和4年度東京都地域学校協働活動推進フォーラム」では、学校等の教育活動で使用可能な、企業等の教育支援団体による49のプログラムを、特設ホームページ（企業・NPO等による“教育プログラム”オンライン見本市）上で紹介しました。

そのプログラムの中から、“教育プログラム”が実際に活用されている様子取材し、提供している団体等の担当者のインタビューと、プログラムを活用している放課後子供教室のコーディネーターや小学校の先生の声を紹介しています。

### 「ASEAN 出張授業」 動画 (8分14秒)

<https://youtu.be/vNtgOJdurOM>



国際機関日本アセアンセンター [江東区立南陽小学校]

国際機関日本アセアンセンター担当者及び登録講師の方々

この「出前授業」を活用した先生の声



日本アセアンセンターは、1981年にアセアン10カ国と日本11カ国で設立されている国際機関です。



「ASEAN 出張授業」は、人物交流の中の一事業で毎年約20校、小学校から高校まで2500人から3000人の日本の子供たちに日本とアセアンの交流する機会を設けています。



登録講師というしくみで、現在200人を超えるアセアンの方々が登録しています。日本語の話せる、自国のことを伝えたいASEANの方々です。



インターネットや本だけだと、断片的な情報だけになってしまうので、今、対面でお話させてもらって、とてもいい場だなと感じます。10人の講師集めを私たちがやろうと思ったら、それは大変なことなので、とてもありがたいです。



実物を見たり、お話をさせてもらい、すごく生き生きしている、前のめりに参加している姿を見て嬉しく思います。また、来年度以降も継続させていただけたらと思います。

### 「ロボットプログラミング教室」(於：小平市立小平第八小学校放課後子ども教室) 動画 (6分00秒)

[https://youtu.be/\\_48gSzVYXSw](https://youtu.be/_48gSzVYXSw)



シニア SOHO 普及サロン三鷹 [小平市立小平第八小学校放課後子ども教室]

シニア SOHO 普及サロン三鷹の講師の声

小平第八小学校放課後子ども教室コーディネーターの声



シニア SOHO 普及サロン三鷹として、三鷹市との共同や、かなり多くのグループで行っている活動の一つとして、小、中学校でのプログラミング教育のお手伝いをしています。



プログラミングというのは、いろんなやり方があるので、こうでなきゃいけないってということではないですよ。



平成16年から「放課後子ども教室」を開始し、現在、月曜日から土曜日まで、放課後に子供の居場所、楽しい場所として、地域の方々の力を借りながら、24教室実施しています。



令和3年度フォーラム資料集でこの「ロボットプログラミング教室」を知り、教室を開設しました。さすが専門家集団でいらっしゃるの、広範な知識を子供たちに伝えてくださるので、すごくありがたいです。



お子さんに考えてもらうことが、やっぱり重要じゃないかなと思っています。

i 「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」は、子供たちの教育活動に、企業、大学、NPO等の専門的な教育力を効果的に導入するためのネットワークづくりを目指した組織です。子供たちが多様な大人と出会い、新しい体験をする中で、社会性を育み、積極的に学ぶ意欲を持てるような教育環境の整備を目指して様々な活動に取り組んでいます。  
<https://www.syougai.metro.tokyo.lg.jp/sesaku/schooling.html>

# ③ 6つの【オンライン】テーマ別分科会

## 1 【コミュニティ・スクールの導入】

### 行政担当者のためのコミュニティ・スクール導入理解 ～伴走支援とは何か？～

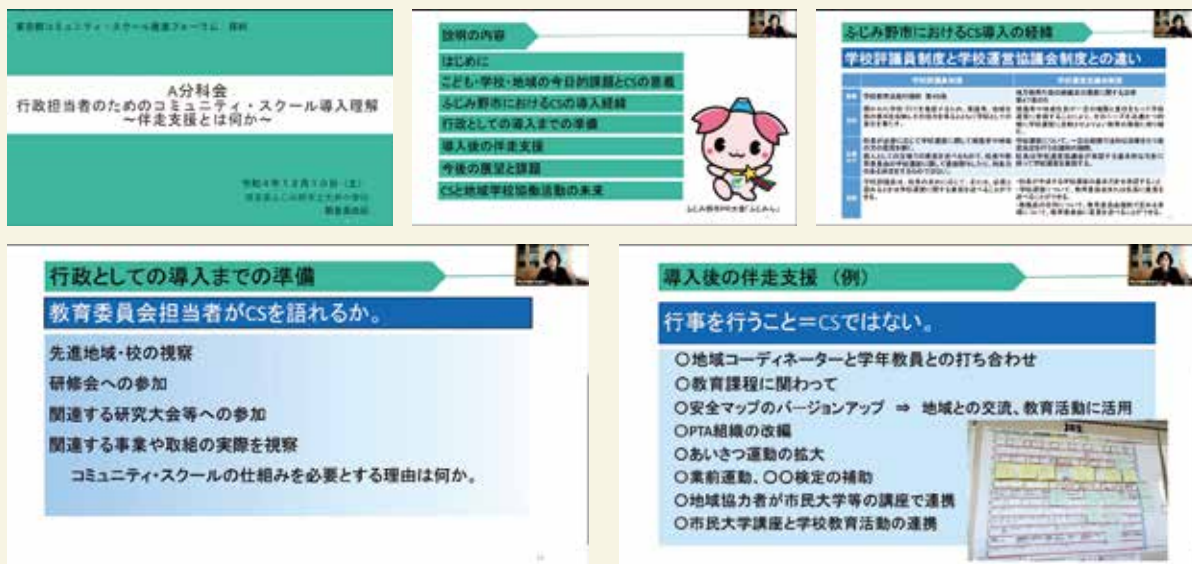
CS導入に直面している各区市町村教育委員会の担当者が、教育委員会によるCS導入時の伴走支援の先行事例から学び、また他地域との担当者との交流により、CS導入時期の教育委員会事務局における課題整理を促す機会としました。

都内でも行政職員やCS委員を対象とした研修等で実績のある、文部科学省CSマイスターの朝倉美由紀先生に、講師を務めていただきました。

**対象** 区市町村教育委員会担当者、学校運営協議会委員

**講師** レクチャー「教育委員会による伴走支援について」  
朝倉美由紀（文部科学省CSマイスター、埼玉県ふじみ野市立大井小学校校長）

**講義タイトル** 「教育委員会による伴走支援について」



### 分科会に参加して（アンケートから抜粋）

#### 【行政担当者】

- 行政担当者のための導入理解・伴走支援に関する講演を聞くことは初めてだったが、とても参考になった。
- 教育委員会職員が市民にどれだけ「夢」を語れるかという朝倉先生の言葉は印象的だった。
- 「市長部局との連携」、「既存の制度とCS制度の違い」、「CSを必要とする理由」を、学校や地域の方々にきちんと説明できること、理解してもらうことが大切だと思った。
- 短時間ではあったが、グループ内で各自治体の教育委員会の課題（悩みどころ）が共有できてよかった。

#### 【学校運営協議会委員】

- コミュニティ・スクールの運営や役割について、それぞれ地域ごとに、地域の実態を生かした活動を展開していることがよくわかった。

#### 【統括コーディネーター】

- CSを実施する上でのメリットをあらためて知ることができた。
- 児童参加型（子供の実行委員会）の提案方式（意見聴取）が参考となった。

## 2 【コミュニティ・スクールの導入】

### 学校運営協議会委員のためのコミュニティ・スクール理解 ～CS 委員になるってどういうこと～

学校運営協議会委員となられて間もない方々の経験談をきっかけとして、同じように運営協議会委員となっただけの方や、これから委員になれる方々が、他地域の方々と交流し学ぶ機会としました。

また、「分科会：行政担当者のためのコミュニティ・スクール導入理解」に引き続き朝倉先生（文部科学省CS マイスター）にも御参加いただき、御助言をいただきました。

対象

学校運営協議会委員、地域コーディネーター・地域学校協働活動推進員、今後CSを設置する学校長等

事例報告

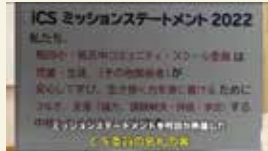
板橋区立板橋第五中学校 / 板橋第四小学校 CS 委員会委員

URL及びQR

<https://youtu.be/DxbaV8-TlzY>



板橋区立板橋第五中学校 / 板橋第四小学校 CS 委員会 委員長、地域コーディネーター 上田 禎



実は、何回か熟議をして“ミッションステートメント”っていう、何のためにCS委員会はあるのか、ということを確認した上で、スタートしているんです。

最初に、もしくは立ち上がる前に、熟議とかでみんなで（ミッションについて）話せると、いいんじゃないのかなと思います。

板橋区立板橋第五中学校 / 板橋第四小学校 CS 委員会 副委員長 豊田昌之



年間的に、スケジュールを決めているので、そういう意味では割と皆さん、予定を立てやすくなっていると思います。

あとは地域の委員の人たちを中心としてSNSのグループがあり、日々いろんな状況の報告であるとか、前に話したことに基づいては、共有がされています。

事例報告

杉並区立桃井第四小学校 学校運営協議会委員

URL及びQR

<https://youtu.be/GAy73Q1cG1k>



杉並区立桃井第四小学校 / 学校運営協議会委員 八木稜太郎



高校3年生の頃に、先輩と話そうというイベントがあり、小学生たちと話すのがシンプルに楽しかった。その後、その地域の方々が話し合う会議にまた参加させていただいて、そこで学校活動の裏にはこういういろんな人達の尽力があったということに気づいて、今は卒業生の大学生としてCS委員です。



卒業してから一番日数が短いということで、小学生時代に体験した感覚とかを会議で伝えることもできる、そこは若いから貢献できている部分なんじゃないかなと思います。学校教育に関わるっていうのは、教育に貢献するっていうことだけじゃなくて、地域に貢献するっていうことになるという見方ができたのは、委員になってよかったことです。

### 分科会に参加して（アンケートから抜粋）

#### 【学校運営協議会委員】

- 他の地域ではどのような活動をしているのか、またどのような思いでいるのかを知ることができた。また、CS委員として、先生方、子供たちに役に立つことをしていきたいと強く感じた。
- 効果的な運営の事例は興味深く、他校との交流はとても良い経験になった。
- 目的を明確化した上でのスタートに、深く共感した。
- なぜCSが必要なのかという疑問が残ったままの導入自体について、学校関係者を含めた理解不足の課題も浮き彫りになった。

#### 【行政担当者】

- 課題や目標を共有することの重要性が印象に残った。
- あらためて実務ができる「人選」が重要だと感じた。
- 実際にCS委員をされている方のお話を聞いたことが収穫だった。

#### 【地域コーディネーター】

- メンバーの人選、何のためにCSをスタートさせたかなどを、メンバーで共有していくことの大切さがよく理解できた。一緒に聞いていた校長も「とても良かった」とおっしゃっていた。
- （これからCSを導入）事前にミッションを何度も話し合うこと、そのミッションを常に忘れないことが重要だとあらためて理解した。また卒業生とのかわり方の事例が大変参考になった。

#### 【統括コーディネーター】

- 朝倉先生のアドバイス「新たな地域の未来を創る主体者にあなたも参加しませんか」は、管理職にも大変に参考となる考えだと思った。

### 3 [小学校における多様な地域学校協働活動の展開]

#### 放課後等の学習支援の多様な取組について ～知りたい地域未来塾等の課題や工夫～

小学校における放課後等の学習支援は、地域未来塾をはじめ各地域の実態に応じて様々な工夫により展開しています。本部やコーディネーターによる学校のニーズを踏まえた特徴的な取組や人材確保の事例を紹介し、小学校における放課後等の学習支援の可能性について意見交換を行う機会としました。

対象

小学校の地域コーディネーター・地域学校協働活動推進員

事例報告

三鷹中央学園三鷹市立第三小学校「三小地域未来塾」

URL及びQR

<https://youtu.be/qLKoipuYAts>



三鷹中央学園三鷹市立第三小学校スクール・コミュニティ推進員 澤田加代



- ・第三小学校で活動している学習支援員は現在 35 名、大学生が 14 名、それ以外は地域の方 21 名です。大学生登録者は、卒業生の場合は、自主的に連絡をいただくパターンと、保護者の方が学校にかかわっていることで登録いただくパターンがあります。近隣大学の学生の方は、紹介だったり、自主的に連絡していただくことが多く、最近はサークル内の紹介などが増えています。現役保護者の方の登録は、プライバシーに配慮して基本受け付けておりません。
- ・担任の先生が授業で成果を感じてくださっているようで、その報告をいただくことが二学期に入ると増えてきます。
- ・継続して参加して下さる支援員の方は、児童の個々の特性を理解して対応に当たってくださるので大変ありがたいです。
- ・大学生に教えてもらうことが、子供たちには大きな喜びとなっています。
- ・放課後の場の一つとして参加している子はもちろんのこと、参加していない子にも理解され、学校の授業とも塾とも違う、新たな勉強の場となっています。
- ・毎年新しい提案をし、学校と相談することで課題を解決していきたいと思っています。

事例報告

多摩市立西落合小学校「地域未来塾」

URL及びQR

<https://youtu.be/tGGj14I8pU8>



多摩市立西落合小学校 / 地域学校協働活動推進員 川口妃都美



- ・学習支援員として来てくださっている方は 6 名、元教員の方、塾の先生をされていた方や教員免許を持っていてお仕事をされていない方などです。
- ・多摩市で用意されている学習支援員の登録用の書類があり、免許や、自分が活動しやすい曜日と時間帯などを記入できるようになっていて、コーディネーターとして、ありがたいです。
- ・今考えているのは、近くに大学がいくつかあるので、統括コーディネーターにご相談をして学生の支援員について話を進められたらと。
- ・毎年その学年の子供たちの雰囲気って違うので、先生方に、その子供たちの特徴とか、予め聞ける範囲で聞いて、学習支援員にお伝えできる範囲でお伝えをします。
- ・先日、副校長先生とお話をさせて頂いた時に、家庭と未来塾が繋がってないなっていうのを感じて、「未来塾ではお子さんたちはこういうことやってますよ」と、家庭から見えるようにできたらと考えています。
- ・子供たちが行ってみようかな、って思える地域未来塾になればなあ。学習支援員の方たちは本当にすばらしい方々なので、十分にそれを満たして欲しいと思います。

#### 分科会に参加して (アンケートから抜粋)

##### [地域コーディネーター]

- どの地域でも人材確保に苦労している。課題の共有ができて、このような情報共有の場はとても大切と感じた。
- 地域未来塾が「学習の底上げ」「自主学習の場」「居場所作り」、小学校と中学校など、求められるものが多様で、目的を明確にすることに気が付いた。
- 子供達の集め方などの具体的な運営方法を学んだ。

##### [統括コーディネーター]

- 地域未来塾の目的、どういう場にしたいのかを明確にするためにも、学校との検討の場が必要と感じた。
- それぞれの事例が分かりやすく、また、それぞれの地域での取組みへの努力に学ぶことが多かった。

##### [学校運営協議会委員]

- 地域未来塾を初めて知り、学習支援と地域の大人との関わりによって、子供たちが少しでも良い環境で成長できたら、すばらしいと思った。

##### [学校関係者 (管理職)]

- 地域コーディネーター等の方々が、日頃どんなことを感じながら活動をされているかがわかり、今後の関わり方、働きかけ方の参考になった。

## 4 [小学校における多様な地域学校協働活動の展開]

### PTA等保護者と地域学校協働活動との関わりや連携について ～どこが違うの“本部”と“PTA”～

地域や地域コーディネーターから最も多い問い合わせの一つが「PTAとはどこがちがうのですか」です。その違いを踏まえた上で、地域コーディネーターにとって、現役の保護者の方々との関係、連携、支援など、事例報告と交流を通じてヒントを得る機会としました。

**対象** 小学校の地域コーディネーター・地域学校協働活動推進員、PTA関係者

**URL及びQR** <https://youtu.be/qLKOipuYAts>



#### 事例報告 本部とPTAの位置づけと関係～板橋区立成増小学校～

板橋区立成増小学校 / 地域学校協働本部コーディネーター 白鳥円啓



- ・新旧PTA役員の引き継ぎ会というのがあり、その冒頭の30分にコーディネーター4名でお邪魔して、「学校支援地域本部事業はこういうことをやっています」、「PTAと一緒にやった事業もあります」と概要説明をしています。
- ・その際、活動領域を表を活用してお互いに確かめることをしています。右・左で、左が学校教育活動で、右が学校教育活動外です。教育課程内・外、特活などに関しては、本部ではここをやっています、PTAはここですよ、っていう話を毎回しています。
- ・PTAはどちらかというと、子供、それが家庭といったキーワードも含めた様々なこと。それから、子供たちの環境づくりということがキーワードになっています。例えば、運動会や音楽発表会に関しては、PTAと学校支援地域本部が共同でやろう、などを確認しています。
- ・こういった区分けを毎年することで、お互いがどこまでできるかな？といった話ができるようにしています。

#### 事例報告 PTAからみた地域学校協働本部～文京区立駒本小学校

文京区立駒本小学校 / PTA会長 宇野高雄



- ・年度末に新旧のPTA本部役員が引き継ぎのための顔合わせする際、地域コーディネーターも入っていただき、次年度の一・二・三学期はこのような事業計画がありますよ、ということを示唆してもらい、「とするとPTAからお手伝いの募集が必要ないんな事業があるのかな」という認識のすり合わせをします。
- ・保護者のボランティアの募集は、PTAのネットワークを用いて行います。メール配信サービスに登録をいただいていますので、校外学習の付き添い、家庭科授業の支援など、そのメールで流します。
- ・ポイントは、動員的に決められた人数を集めるのではなく、例えば協働本部から10人ぐらい集めて欲しいとして、実際7、8人しか集まらないこともあります。その場合は、事業内容を少し組み換えたり、集まった人数でやれることをやると言うスタンスです。
- ・コロナ禍になって、運営が難しかったのですが、たまにある保護者会とか、親同士のネットワークやつながりが大事だね、と逆説的に認識されたところがあります。
- ・単純に人を集めるだけであれば、地域の方にも声かけるわけですが、例えば親の意見を集めるとか、親の立場の替わりは地域では出来ないの、親のネットワークの必要性は、協働本部があっても変わらないものだと思います。

## 分科会に参加して（アンケートから抜粋）

### [地域コーディネーター]

- コロナ禍になりPTAの負担感が増し、在り方を見直すこととなった。
- 組織立てることの重要性を痛感した。そのような仕組みづくりやIT利用の研修を希望する。
- 「PTAとの活動領域の見える化」は、次に何をすれば良いのかもイメージしやすくてとても良いと思った。
- PTA自体が活動の見直し、縮小化していく中において改めて連携が学校や児童のためにも重要であると感じた。
- 普段交流のない地域のお話が聞けて興味深かった。
- 今後ともこのようなコミュニティの機会を作っていただけると励みになる。

### [統括コーディネーター]

- PTAと地域学校協働活動とは目的を同じにしながら、担い手が異なり、活動が違うという住み分けをしつつ、互いの活動を理解し情報を共有する関係の構築を目指すのが良いのではと感じた。
- 多様な支援を必要とする学校の教育活動を、学校も含めて再度見直し、PTA・地域学校協働本部それぞれの合意の中での活動の住み分けが必要と感じた。
- 図や表等で役割を“見える化”することは、大切だと思った。

## 5 【中学校における多様な地域学校協働活動の展開】

### CSや地域学校協働本部による居場所づくりの可能性 ～中学生に寄り添う取組から～

CSが発案、または地域学校協働本部が担って「居場所づくり」を進めている取組があります。

多様な可能性を秘めた中学校の「居場所づくり」の取組を通じて、中学校担当の地域コーディネーターの役割について考える機会としました。

対象

中学校の地域コーディネーター・地域学校協働活動推進員、学校運営協議会委員

事例報告

板橋区立志村第五中学校「ほっと ルーム」

URL及びQR

<https://youtu.be/XG1iwUfUE4A>



板橋区立志村第五中学校 / 地域学校協働本部地域コーディネーター・CS委員 二渡華枝・山崎洋子・木戸博美  
板橋区立志村第五中学校 / CS委員長・長後町会会長 二渡武男  
板橋区立志村第五中学校 / 校長 関 一彦



- ・(関校長) 一時間目から6時間目までずっと座っているということが非常に苦痛を感じている生徒がおりまして、トラブルを起こしてその感情のままに教室の中にとどまっているということが、やはり苦しいという生徒がいるわけですね。気がつく学校に来てないというようなことも生じるわけで、ほっと一息つくための部屋を用意してはどうかっていうことを考えたわけです。
- ・(二渡華枝) この地域では、老人会に声をかけますと、気持ちよくボランティア活動を受けてくださいます。
- ・(二渡武男) 実際、ここは活用されないことが一番いいのですが、教室にいたくない生徒はこういう場所があって勉強ができる、息抜きができるっていうのはこの場所は本当にいい場所だと本当にほっとするような場所じゃないかと思います。
- ・(木戸博美) 前回のコミュニティ・スクール委員会でも話題になったのですが、今後はネットでスタッフ募集状況すぐに見れるような仕組みを作って、もう少しボランティアを増やすことも。
- ・(山崎洋子) ここがそれほどそのにぎやかにならないように。それでも生徒さんの居場所として、生徒さんが和やかにここで時間を過ごせるような、そんな雰囲気づくりができることを希望しています。

事例報告

八王子市立城山小学校・同城山中学校「城山かわせみ塾」

URL及びQR

<https://youtu.be/pulgEbKTyD4>



八王子市立城山小学校・同城山中学校 / 学校運営協議会会長、コーディネーター 進藤 丕



- ・当初は不登校生徒のことはあまり頭になかったんです。ところが、新聞、テレビなどメディアの報道で、中学校の場合平均5%を超える不登校がいる。それって看過していいのかな、我々ができることって何かないかなと考えたのが、この居場所づくりです。
- ・地域の有志の方に相談して、このかわせみ塾を、ちょうど2年前に立ち上げました。検討会や推進委員会をつくって議論し、会場を探したり直接現場で指導してくれる人も探さなきゃいけない。そうした準備があり、立ち上げまでに半年かかりました。
- ・(会場を借りている) 星槎国際高校の高校生サポーターにも協力していただいて、生徒の話し相手になってもらっています。いろいろ教えてくれて、高校生の存在が大きいです。
- ・月に一回学校に報告書を届けて生徒の状況を説明し、保護者とは電話等々で、最近の様子や家庭の様子を聞いたり、また塾の様子を伝えています。
- ・学校にはスクールカウンセラー、ならびにスクールソーシャルワーカーも出入りし、その他地域には社会福祉協議会とか不登校児支援ネットワークも2月にできたので加盟し、いろいろな関係者と情報の交換をしています。
- ・まだ実現していませんが、保護者のためのかわせみカフェ、ここで生徒のいない別の時間帯にコーヒードrinkしながら悩みを聴いてあげるっていうね、そういうことをボランティアの人と一緒にやってみようかなと考えています。
- ・我々は微力ではありますが、地域の不登校やひきこもりの生徒に寄り添って、多少なりともその成長に貢献できればいいなと感じております。

### 分科会に参加して(アンケートから抜粋)

#### 【学校運営協議会委員】

○積極的に不登校の子供達への支援を考え、実施している地域が多くあること、そこで起きる様々なトラブルや障害を、知恵を出し合って乗り越えていること、人を募り育てる難しさ、そのための研修のあり方等について学んだ。

○不登校対策では学校と地域の協働が必要だと感じた。

○板橋区の事例で、生徒も居場所に関心を持っていることが印象的だった。

#### 【地域コーディネーター】

○不登校生徒に関する課題はどこの学校も同じように抱えているということがよくわかった。

○各学校での居場所づくりについて、さまざまな取組、課題等、いろいろと考え始めることができた。

○不登校の生徒や帰宅部の生徒の居場所作りは、運営内容も工夫されていて、多くを学んだ。

○校長先生の「教員が異動しても、この取組は継続される」という言葉、息の長い活動が必要だと感じた。

#### 【統括コーディネーター】

○中学生に寄り添う取組、どちらの事例発表も興味深く聞いた。もう一度話し合いたいテーマである。

○いろいろな課題を認識し、共有できたことが最大の効用だった。



## 6 【中学校における多様な地域学校協働活動の展開】

### 放課後等における中学校の学習支援の取組に学ぶ ～知りたい！人材確保や工夫～

多くの中学校で取り組まれている放課後等の学習支援、地域コーディネーターが関わり継続して行われている取組事例を紹介し、中学校における学習支援活動のポイントについて、意見交換を行う機会としました。

**対象** 中学校の地域コーディネーター・地域学校協働活動推進員

**事例報告** 調布市立第六中学校 「英語検定」直前自習サポート教室

**URL及びQR** <https://youtu.be/ZCwDA1H7hC8>



調布市立第六中学校 / 地域コーディネーター 堀英樹・山口真弓



- ・(堀) きっかけは、英検の準会場運営を地域学校協働本部で、また試験監督のボランティアをコーディネートできないだろうかということから、スタートしました。
- ・(臼倉校長コメント) スタートしてから3年目になります。コロナ禍もあり順調だったわけはありませんが、英語学習に対する生徒たちの意欲も向上し、参加率も上がり、(英検)合格率も上がってきています。
- ・(山口) PTAを経験してきました。子供会の役員もやっていたことで、その地域のお母さん方とのつながりの中から、英語が得意な方などへ声をかけて。
- ・(堀) 留学経験がある方、英語を生業としたことがある方、現在の仕事の中で英語を使うことが多い方から十人ぐらい集まって頂いたというのが現状です。
- ・(堀) 人材確保で人づての部分はまだまだ続けていかなければいけない。特にその英語の支援の強化が、コーディネーターとしての課題になっていますので、今短期的な目標ですけど、もう少し将来に向けてというようなことの学習支援もできたらとの思いがあり、英語の教職を目指す大学生との協働と言うことを今模索し始めています。
- ・(山口) 子供たちの役に立てること、子供たちの未来につながる活動を、これからも続けていきたいですし、学習支援員の保護者の方などから経験談とか、あと幅広い知識を聴くことによって、より英語が好きになり、興味を持ってくれる子供たちが増えたらいいなあと、いつも思っています。

**事例報告** 小平市立小平第一中学校 「放課後学習教室」

**URL及びQR** <https://youtu.be/8pS36aoVaD0>



小平市立小平第一中学校 / 地域教育コーディネーター 保坂明子



- ・月曜日と水曜日を中心に2時間前後で、教科は数学と英語、それから英語検定、数学検定にも対応しています。生徒の人数は平均20名前後で、多い時は60名になる時もあります。支援員さんは20名くらいいますのでマンツーマンで対応できています。
- ・小平市の市報で募集させていただいた方がほとんどで、元教員の方とか企業にお勤めだった方、それから大学時代に学んだ力を活かしたい方などが多いです。
- ・先生方のちょっとした隙間の時間やタイミングを見計らって支援員さんと話した内容をもとにこんな工夫はいかがですか?とか、放課後での生徒の様子を交えて相談しています。その結果、英語数学の先生からは「授業で実施したプリントの復習を支援員さんに教えてもらうように」と生徒に声をかけてくださり、また給食の時間の校内放送で放送委員がアナウンスしてくれます。
- ・放課後学習教室はいろんな大人がいて、その多様性を学べる貴重な場であり、評価の無い場所でもあります。先生方や支援員の方々とコミュニケーションを交わしながら、生徒や保護者の声を聞き、大人も生徒も引き続きお互いが高めあう関係を大事にしていけるように努力したいと思います。

### 分科会に参加して（アンケートから抜粋）

#### 【学校関係者（管理職）】

- 「持続可能」の面で、人材確保が重要課題であり、大学との連携が教員を目指す学生を増やすことにもつながっていけばと思った。
- 生徒への学習支援をどのように行っていけばよいか、より深く考えていくきっかけとなった。

#### 【区市町村職員】

- 持続可能な事業を運営していくためにも、人材の確保は大きな課題であることをあらためて感じた。

#### 【地域コーディネーター】

- 人、場所、財源の問題をどう解決するか、どこも同じ悩みを抱えているということがわかった。
- 英検の運営や放課後の学習支援など様々な取り組みを実際にされている方から伺い大変参考になった。
- 地域（行政区）により異なる面があるものの、創意工夫により地域の人材を確保することができていることは、今後の取組の参考になった。
- 学習支援の仕方、実施について、ボランティア講師の募集・面談、お試し等の工夫、教材の選び方、謝金の設定等とても参考になった。

#### 【統括コーディネーター】

- それぞれの学校の新しい取組や、実際にやっていることの意義や価値をきちんと共有できる仕組みが必要と感じた。

## 4

## 地域学校協働活動関連サイト紹介

## ～区市町村における地域学校協働活動関連サイト紹介

「令和4年度東京都地域学校協働活動推進フォーラム」開催にあたって、特色ある事例の共有を地域学校協働活動推進事業実施地区に呼びかけました。フォーラム特設ホームページへ掲載した事例の中から、10の事例について紙面でご紹介します。

### 本部による特色ある活動事例【授業支援】 調布市・羽村市

○本物に触れる（授業における外部人材の活用）【調布市立第三小学校（地域学校協働本部）地域コーディネーター】  
調布市立第三小学校では、毎年学校教育に地域住民などの学校外の力を活用する取組を行っています。その活動の柱に、外部講師を活用した「出前授業」があります。

#### Outline

- ・従来の教員による地域人材探しが、“地域学校協働本部”導入後は地域コーディネーターの役割に。
- ・事前事後の調整や書類作成の移管で、教員が本来の職務に集中できた。
- ・地域と協働して持続的に学校教育活動を推進できるよう仕組みづくりが実現。

#### Point

- ・毎月1回、学校管理職と地域コーディネーターとの定例会で、翌月の学校行事の詳細について情報交換。
- ・地域コーディネーターが、必要に応じて担当教員との打ち合わせや講師との折衝・打ち合わせ。
- ・管理職から職員会議等で地域コーディネーターを活用した「出前授業」の取組の紹介。
- ・年度末の学年の引継ぎで「出前授業」の実績を共有。



講師と地域コーディネーターで打合せ



出前授業 図工「水墨画体験」

#### URL及びQR

[https://youtu.be/EhdbLM2A\\_lc](https://youtu.be/EhdbLM2A_lc)



○羽村東小地域フェスティバル【羽村市立羽村東小学校（学校支援地域本部）地域コーディネーター】

羽村市立羽村東小学校では、多様な体験の機会として「羽村東小学校・地域フェスティバル」を開催しています。令和4年6月25日（土）、3年ぶりに開催し、学校支援地域本部がコーディネートに協力した全12講座の中から、子供たちが興味のある活動を選び参加しました。

#### Outline

- ・学校支援地域本部が地域の方に講師を依頼し、授業内で児童が多様な体験に触れることができる機会を提供



12講座のひとつ「バルーンアート教室」

## 本部による特色ある活動事例【環境整備】 港区・西東京市

○地域・学校・家庭の連携の取組～玄関装飾と昔遊び支援～ [港区立赤羽小学校（地域学校協働本部）地域コーディネーター]  
新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、本部による非接触型支援として玄関装飾を行いました。あわせて、低学年対象の昔遊び体験を支援しています。

### Outline

- ・児童及び教職員の気持ちを少しでも明るくしようと、玄関装飾を地域学校協働本部が実施。
- ・より多くの地域住民の参画・世代間交流を目指し、1・2年生の出前授業（昔遊び）の具体化を支援。

### Point

#### 【玄関装飾】

- ・学校長及び担当教諭と、年間行事予定に沿って装飾内容を毎月打合せし、その内容をボランティアに周知。
- ・ボランティア募集は地域住民及びPTAにも呼び掛け、多くの人に参加できるように Zoom で打合せ。
- ・「地域学校協働だより」を用いて、新たな装飾を、その都度、児童及び保護者に周知。

#### 【昔遊び支援】

- ・ボランティアには、児童館及び地域活動リーダー養成講座の卒業生にも応援を要請。



○長期休暇中の飼育ボランティア [西東京市立けやき小学校（地域学校協働本部）地域コーディネーター]

冬休みの学校閉庁日において、地域学校協働本部が、施設開放運営協議会を中心とする保護者・地域住民・対象学校卒業生等の協力を得て、うさぎ・にわたりのえさやり、飼育小屋の清掃を行いました。初めて学校支援ボランティアを体験する方から「これからもっと参加したい」との感想も。教職員の負担軽減にも貢献。

飼育ボランティア説明会 ▶



○学校応援団プロジェクト「昇降口のドアを綺麗にしよう！（ペンキ塗り）」 [西東京市立明保中学校（学校支援地域本部）地域コーディネーター]

綺麗な昇降口で卒業生を見送り、4月に新入生を迎えるため、令和4年2月下旬に、本部が主体となって昇降口のドアのペンキ塗りを行いました。市報公募や商店でのチラシでの呼びかけに、今まで接点の薄かった地域の方の参加を含め2日間で延べ28名の参加者。



## 本部による特色ある活動事例【学校外活動又は地域連携】 江東区・大田区

○水彩都市ならではの貴重な体験～カヌー体験教室～

[江東区立亀戸中学校・江東区立第二亀戸中学校 地域学校協働活動推進員]

夏季休業日中に、区の特色である水辺を活かした取組として、地域学校協働本部が地元のカヌークラブと連携して、カヌー体験教室を実施しました。▶



○夏休みわくわくスクール～葉脈標本のしおりに作ろう～ [大田区立清水窪小学校（学校支援地域本部）地域コーディネーター]

今年度は56講座を実施、子供たちが多様な体験に触れることができるように、学校支援地域本部が地域住民や保護者に講師を依頼。

「葉脈標本のしおりに作ろう」の講座の様子▶



○夏休みわくわくスクール「あなたも小学生起業家 食べ物屋さんになってみよう」ワークショップ [大田区立中萩中小学校（学校支援地域本部）地域コーディネーター]

今年度は23講座を実施、子供たちが多様な体験に触れることができるように、学校支援地域本部が地域住民や保護者、企業と連携して講師を依頼。

チームで、定食屋やカフェなど店のコンセプトや値段を決めて、お店の経営やお金の大切さを学ぶ。▶



## 地域学校協働活動関係者のレベルアップ 品川区・町田市

### ○学校地域コーディネーター対象「課題別研修」[品川区教育委員会事務局]

品川区では、平成 28 年より 3 年かけて全校に学校地域コーディネーターを配置し、導入期には 2 か月に 1 度の情報交換を行ってきました。

現在は、よりコーディネーターのモチベーションを保つため、単なる情報交換だけではない、スキルアップを目的とした機会を設けています。

#### Outline

- ・教育委員会からの連絡や各校の現状報告が主となる「連絡会」
- ・他自治体のコーディネーターから取組事例を伺う「スキルアップ研修」
- ・抱える課題や知りたいテーマごとに情報交換を行う「課題別研修」の三本立て



#### Point

- ・「課題別研修」は、各学校地域コーディネーターへのアンケート結果をもとに、「他校がどのように行っているか知りたい」をテーマに設定
- ・先進的な取組をしている学校地域コーディネーターを講師として、当該コーディネーターの所属校に参加希望者が集まって実施
- ・課題別研修では、他校を訪問し事例を聞くことがリフレッシュにもつながる

講師選定にあたっては、年度末に作成している「成果事例集」を参考にしている ▶



### ○コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的な推進を図る地区ミーティング [全校 10 地区対象 統括コーディネーター]

町田市では、市内小中 61 校を、そのうち 20 校ある中学校の 2 校を「一つの地区」とし、10 の「地区ミーティング」を実施しています。

#### Outline

- ・「地区ミーティング」には、地区統括 VC (ボランティアコーディネーター)、VC、学校支援センターのゼネラルボランティアコーディネーター (GVC) と、教育委員会指導課、学校管理職、地域連携担当教員に加え、地域関係機関からの協力者も参加

#### Point

- ・司会・進行は地区ごとに地区統括ボランティアコーディネーターが担当
- ・地域の特色となる協働活動を情報共有することができ、より一層の地域資源活用と活性化
- ・令和 2 年度から全校に導入した学校運営協議会の運営状況について共有し、相互に研修の機会にも



相原小学校他 7 小学校、金井中学校他 1 中学校の地区ミーティング

# 令和2・3年度


## 5 東京都 地域学校協働活動推進フォーラム 紹介動画事例アーカイブ

アーカイブ：令和2年度東京都 地域学校協働活動推進フォーラム／コミュニティ・スクール推進フォーラム




オンライン配信 [令和3年1月30日 (土曜日)] において紹介した取組事例等の動画のアーカイブです。

### 第1部 「コミュニティ・スクール」の導入に学ぶ

- ・基調提起「あらためて、なぜCSなのか」(動画 29分51秒)



講師：相田康弘 (文部科学省CSマイスター、[当時] 山口県光市立浅江中学校教頭)	<a href="https://youtu.be/F3t8hbW7les">https://youtu.be/F3t8hbW7les</a>	
---	---	---

- ・「導入で変わった・わかった！ VOICE」BY コミュニティ・スクール設置地区






小平市立小平第五小学校 学校経営協議会 (動画 5分21秒)	<a href="https://youtu.be/ds1KTQe4uAQ">https://youtu.be/ds1KTQe4uAQ</a>	
板橋区立北前野小学校 コミュニティ・スクール委員会 (動画 6分45秒)	<a href="https://youtu.be/Jifb2snZEjM">https://youtu.be/Jifb2snZEjM</a>	
杉並区立杉並和泉学園 学校運営協議会 (動画 8分03秒)	<a href="https://youtu.be/3MYiY_RYxzl">https://youtu.be/3MYiY_RYxzl</a>	

### 第2部 多様な地域学校協働活動の取組事例に学ぶ

- ・事例紹介「コロナ禍における地域学校協働活動、コーディネート」の展開」

品川区内の取組と浜川小学校でのチャレンジ (動画 5分50秒)	<a href="https://youtu.be/Yu1O69tGgv0">https://youtu.be/Yu1O69tGgv0</a>	
江東区立第三砂町中学校 三砂支援の会の取組 (動画 6分06秒)	<a href="https://youtu.be/5zVXJ06jHow">https://youtu.be/5zVXJ06jHow</a>	

- ・事例発表「一体的推進による多様な地域学校協働活動」


舟渡小学校支援地域本部「ここから始まる新しい学校～地域が全力で応援し、学校の可能性を拓く～ (動画 3分58秒)	<a href="https://youtu.be/l6DqKACpgRU">https://youtu.be/l6DqKACpgRU</a>	
多摩市立豊ヶ丘小学校地域学校協働本部「緑豊かな学校林でかかわり、つながりを大切に活動しています！～考え実行する子どもたちの育成を目指して～」(動画 4分09秒)	<a href="https://youtu.be/Hp1saueYuno">https://youtu.be/Hp1saueYuno</a>	
駒本小学校支援地域本部「『どの子ども安心して学校へ通い、学びへの意欲を伸ばすことが出来る』インクルーシブ教育環境を目指して」(動画 4分00秒)	<a href="https://youtu.be/eVqFT5a81KA">https://youtu.be/eVqFT5a81KA</a>	
三鷹の森学園コミュニティ・スクール委員会「地域は学びのキャンパス：子供たちの生きる力を学校と地域で育てています」(動画 3分59秒)	<a href="https://youtu.be/bMfCrjfbMew">https://youtu.be/bMfCrjfbMew</a>	
杉並和泉学園 学校支援本部「『子供が育ち、人が生きる地域』づくり—学園を支える応援団— (動画 4分12秒)	<a href="https://youtu.be/2aYK_4prL9l">https://youtu.be/2aYK_4prL9l</a>	

## アーカイブ：令和3年度東京都 地域学校協働活動推進フォーラム／コミュニティ・スクール推進フォーラム

オンライン配信 [令和3年12月19日 (日曜日)] において紹介した取組事例等の動画のアーカイブです。スキルアップを目的とした機会を設けています。

### 第1部 コロナ禍における地域学校協働活動の多様な展開

- ・ [企業等団体編] 支援団体（ネットワーク協議会による会員団体）によるリモート等活用の取組

東京証券取引所によるオンライン出前授業 東京証券取引所 [府中市立浅間中学校]	<a href="https://youtu.be/zb_AZOlbY">https://youtu.be/zb_AZOlbY</a>	
夢★らくぞプロジェクト「おしごとなりきり出前授業」 夢★らくぞプロジェクト [豊島区立池袋中学校]	<a href="https://youtu.be/wSe0mG98xuc">https://youtu.be/wSe0mG98xuc</a>	

- ・ [地域学校協働本部編] リモート等を活用した地域と学校の連携協働の取組

本物に学ぼう～松庵小から発信する新しいキャリア教育」 杉並区立松庵小学校学校支援本部	<a href="https://youtu.be/YeqfgN9yN7Q">https://youtu.be/YeqfgN9yN7Q</a>	
「地域の輪をつくる『ICT支援活動』」 多摩市立聖ヶ丘小学校地域学校協働本部	<a href="https://youtu.be/V9hB0SnISjA">https://youtu.be/V9hB0SnISjA</a>	
プチ夏のわくわくスクールオンライン講座“おっとビックリ！書くと光る！～電子回路ペン体験講座～” 大田区立雪谷小学校学校支援地域本部スクールサポート雪小	<a href="https://youtu.be/xWPMrGt0o_M">https://youtu.be/xWPMrGt0o_M</a>	
「リモートによる『にじいろひろば五色百人一首』」 こだいら放課後子ども教室実行委員会四小地区	<a href="https://youtu.be/mW5-AE9qR3s">https://youtu.be/mW5-AE9qR3s</a>	

### 第2部 「コミュニティ・スクール」の導入に学ぶ

- ・ 導入事例紹介「知りたい！CSのあれこれ」～コミュニティ・スクールを設置した学校の声、CS委員等の声～

多摩市立北諏訪小学校 学校運営協議会	<a href="https://youtu.be/Dj9SD8vtbuw">https://youtu.be/Dj9SD8vtbuw</a>	
港区立白金の丘学園 学校運営協議会	<a href="https://youtu.be/IRLZqHfJWqk">https://youtu.be/IRLZqHfJWqk</a>	
町田市立金井中学校 学校運営協議会	<a href="https://youtu.be/a68ybMlz2qk">https://youtu.be/a68ybMlz2qk</a>	

解説「“コミュニティ・スクール”理解と効果的な運営のために」

志々田 まなみ (国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官)

URL 及び QR ▲ <https://www.youtube.com/watch?v=Yj5GiJYahkQ&t>



#### ■動画の活用について

- ・ 地域学校協働活動又は学校運営協議会関係者に引き続き御案内していただき、事業理解等で御活用ください。
  - ・ 計画的な活用（関係者対象の研修内での使用、校内研修での活用、広報・HPへのURL掲載等）の場合は、使用について事務局（東京都生涯学習課）までメールにて御一報ください。
- メールタイトル「フォーラム動画使用について」、本文に使用者、目的、対象、使用日（期間）を記載し、「ml-sy-gakosien@section.metro.tokyo.jp」宛てに送信願います。